



学校だより

するが視覚総合特別支援学校

第1版

令和8年6月吉日

『静岡県立するが視覚総合特別支援学校』開校しました！

この駿河の地に、県内初となる「視覚障害教育部門」と「知的障害教育部門」の異なる障害種の新しい特別支援学校が開校いたしました。幼児・児童・生徒合わせて36人の仲間と共に、希望に満ちた第一歩を踏み出したところです。

本校の教育目標は「共に輝き 未来に向かって 心豊かに成長する」です。一人ひとりが持つ素晴らしい個性の輝きを最大限に引き出し、社会の中で豊かに生きていく力を育ててまいります。

そのために、本校では一人ひとりを取り巻く「4つの輝き」を何よりも大切にしていきます。ほっと安心できる毎日の中で育む【安心の輝き】、おもしろい!と瞳を輝かせる【学びの輝き】、仲間や地域と手をつなぐ【つながりの輝き】、そしてみんなで歩みを支える【チームの輝き】です。

それぞれの強みを優しく手を取り合うように重ね合わせ、地域とともに歩む「新しい教育の形」を創り上げてまいります。一人ひとりの輝く未来のため、温かいご支援とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

校長 服部 匠子

幼小学部

今年度の幼小学部は、新しく幼稚部年少児1名を迎え、幼稚部2名、小学部7名でスタートしました。

子どもたちは、新しい校舎、新しい遊び場を満喫しています。特に大人気なのは、「ともだちランド」にあるブランコです。新緑の中、太陽の陽射しや爽やかな風を全身に浴びながら、賑やかな声を響かせています。

今年も、楽しく仲良く元気よく、様々なことに明るくチャレンジする幼小学部を目指します。



中学部

今年度、中学部は1名の新入生を迎えてスタートしました。教室環境は、生徒と一緒に使いやすくなるよう工夫しながら、少しずつ慣れてきました。

5月14日には県内3視覚の中学部が集まり、『六星交流会』を実施しました。初めはとても緊張していましたが、沢山の刺激を受け、同年代の仲間と過ごす貴重な時間となりました。今後も、周りの人と関わる機会を積極的に設定し、自他の良さに気づき、主体的に行動できる生徒を育てていきたいと思ひます。



高等部

23 人の仲間と、するが視覚総合特別支援学校高等部の生活がスタートしました。4月は緊張した面持ちでしたが、時間を共にする中で少しずつ友達とのかかわりも増えてきています。

5月19日(火)には、夏を先取りしたような暑さの中、みんなで励まし合いながら目的地である清水山公園まで歩き、ゲームなどを通して学年の仲間との絆を深めました。

学年目標である「仲間とチャレンジ!」のとおり、1期生としていろいろなことに挑戦し、学校を盛り上げていってくれると期待しています。



保健理療科

今年は1年生2人、2年生1人の3人の生徒が、卒業後『あん摩マッサージ指圧師』として社会復帰することを目標に日々学業に励んでいます。

1年生は久しぶりの学校生活となりますが、骨の名前や構造、あん摩の手技などたくさんのことを覚えるために拡大読書器やデジター図書などを使って学習に取り組んでいます。2年生は専門科目が増え、5月には治療院見学も実施しました。1月からの臨床実習を目指して、さらに知識や技術を高めていきたいと思います。

今年も保健理療科の生徒として健康に留意し、元気いっぱい頑張っていきます!



寄宿舍

今年度、静岡聴覚特別支援学校からの仲間が加わり、総勢5名での寄宿舍生活が始まりました。

新しい居室やお風呂など、3月までとは異なる環境に、視覚生の児童は「新しい地図」を体で覚えるべく奮闘中の毎日です。そんな変化の中でも、子供たちは楽しみを見つける名人。夕方のグラウンドや遊具で汗を流したり、最近流行中の「どうぶつしょうぎ」で対局を重ねたりと、思い思いの余暇を過ごしています。

仲間が増えたことで、舎生会の話し合いにも熱がこもるようになりました。一人ひとりの意見を大切に、みんなで「明日も楽しみ」と思える寄宿舍を作っていきます。



★活動の様子はホームページで随時紹介しています。
今年度より公式 Instagram も始めました。
ぜひこちらからご覧ください。



ホームページ



Instagram